様式第1号の4

年　　月　　日

博多港物流トライアル推進事業 参加申請書Ｂ

　　　　　　　　　　　　　（国内海上貨物/ｺﾝﾃﾅﾗｳﾝﾄﾞﾕｰｽ・物流事業者用）

株式会社　地域開発研究所

代表取締役　鈴木　洋　様

申請者 所在地

名　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　㊞

 担当者 所属・部署

 担当者名

 TEL

 FAX

 E-mail

令和６年度博多港物流トライアル推進事業について、下記の同意事項を了承の上、別紙の事業提案内容を添えて、参加を申請します。

|  |
| --- |
| 【同意事項】　博多港物流トライアル推進事業で採用された場合、下記の事項に同意の上、トライアル輸送を実施します。　　１　トライアル輸送関連情報の提供（事前・事後）　　２　トライアル輸送に係るヒアリング調査への協力（事前・事後）　　３　調査結果の活用（情報公開）への同意　　４　情報開示や調査協力（荷主へのヒアリングを含む）に関し、荷主の了解を得ること |

|  |
| --- |
| * **事業提案内容**
 |

別紙

１．貴社がトライアル輸送を希望する貨物の荷主

1-1）貴社がトライアル輸送を希望する貨物の荷主の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 荷主企業名 |  |
| 物流担当部署 |  |
| 担当者（役職・氏名） |  |

1-2）トライアル輸送実施の確実性

|  |
| --- |
| ア　荷主から提案内容の了承を得ており、概ね実施できる見込み　イ　荷主に提案し、荷主側で検討中　ウ　荷主に提案済みだが、実施に向けクリアしなければならない調整事項がある　エ　その他 |

1-3）トライアル輸送実施に向けた調整事項

具体的な調整事項の内容を記入して下さい。

|  |
| --- |
|  |

２．博多港利用による国内海上貨物／ｺﾝﾃﾅﾗｳﾝﾄﾞﾕｰｽに係るトライアル輸送の内容

2-1）博多港利用によるトライアル輸送を行う背景・目的と取組内容

|  |  |
| --- | --- |
| 背景・目的 |  |
| 取組内容 |  |

2-2）博多港利用の効果について

効果が見込まれる項目について、下記のうち、当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

|  |
| --- |
| ア　既存ルート変更によるコスト・リードタイム削減などの物流効率化　イ　モーダルシフトによる環境負荷低減や物流効率化　ウ　博多港発着の内航利用によるリダンダンシー、事業継続性の確保（BCP）の実施　エ　その他、博多港利用により、物流面の改善効果等の発現が見込まれる事業 |

※エ その他の場合は下記に内容を記入すること。

|  |
| --- |
|  |

2-3）トライアル輸送ルート（今回、計画）と貨物量

トライアルの輸送ルートについて、国内の仕出地から最終納品先まで記入してください。

移出：国内仕出地（市町村）→博多港→国内仕向港→最終納品先（市町村）

移入：国内仕出地（市町村）→積出港→博多港→最終納品先（市町村）

|  |  |
| --- | --- |
| 品目名 |  |
| ルート | （例）①九州工場（福岡市）→博多港→大阪港→関西物流センター（大阪市）　　　②北海道工場（苫小牧市）→苫小牧港→敦賀港・敦賀港→博多港→九州物流センター（鳥栖市） |
|  |
| 博多港利用の航路・船社名 |  |
| 荷姿（該当に○） | コンテナ　　　トレーラー　　　自走貨物　　他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 見込貨物量＊ | 年間　　　　　　　　（　　　） |
| 特記事項 |  |

※貨物量の単位（TEU、台、㎥等）は、荷姿に応じて（　）内にご記載ください。

2-4）これまでの利用ルート／比較検討ルートと貨物量

（トライアル輸送に対し）これまで利用してきたルートや比較検討ルートを記入して下さい。その際、輸送モード（トラック、JR貨物、RORO船、フェリーなど）もご記載下さい。

輸送ルートをシフトする場合：これまで利用していたルート

　　　　　　今回、新たに博多港を利用する場合：博多港以外に比較検討した他の輸送ルート

|  |  |
| --- | --- |
| ルート | （例）①九州工場（福岡市）→関西物流センター（大阪市）（トラック）　　　②北海道工場（苫小牧市）→苫小牧港→大阪港（RORO船）、大阪港→九州物流センター（鳥栖市）（トラック） |
|  |
| 荷姿（該当に○） | コンテナ　　　トレーラー　　　自走貨物　　他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 貨物量実績 | 年間　　　　　　　（　　　　） |
| 特記事項 |  |

※貨物量の単位（TEU、台、㎥等）は、荷姿に応じて（　）内にご記載ください。

３．トライアル輸送の実施回数・輸送量・開始時期

|  |
| --- |
| 回 |

3-1）トライアル輸送実施回数

現時点で予定している実施回数を右欄に記入して下さい。

＊輸送期間は、原則9月から来年1月末迄の約5ヶ月間です。

＊トライアル輸送実施回数は最大3回です。ただし、重点事業のみ最大10回まで実施可能です。

|  |
| --- |
| TEU／回 |

3-2）現時点で予定しているトライアル輸送の輸送量

現時点で予定している1回あたりの輸送量を右欄に記入して下さい。

＊コンテナ以外の荷姿の輸送量については、（荷姿に応じて）単位を修正の上、ご記載ください。

|  |
| --- |
| 月頃 |

3-3）トライアル輸送の開始時期

現時点で予定している輸送開始時期を右欄に記入して下さい。

現時点で分からない場合は、「未定」と記載し、以下に理由を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開始時期未定理由 |  |

４．博多港利用の実現性

　　トライアル終了後、博多港利用の実現可能性について、当てはまるものに○を付けて下さい。また、実現の時期（目安）を記入してください。

※本件に関連し、貴社内での具体的な計画など、裏付けとなる資料等があれば、添付してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実現可能性 | 　ア　トライアルを実施することにより、今後、博多港を利用する可能性は多いにある　イ　物流の決定権がある担当部署や取引先等と調整できれば、利用する可能性はある　ウ　実現に向けては、改めて検討や調整が必要であり、現時点では分からない　エ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 実現の時期（目安） |  |
| 課題・特記事項など | ※現時点で想定されるトライアル事業実現化の課題（クリアすべき問題点、調整事項など） |